

2019年7月18日

<各位>

ナノキャリア株式会社  
代表取締役社長 中富 一郎  
(4571 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役CSFO兼社長室長 松山哲人  
電話番号 03-3241-0553

眼科領域における ADCM の可能性に関する論文が公開されました

この度、ADCMに関連した岐阜薬科大学との共同研究成果が、「Current Neurovascular Research」に論文が掲載されましたのでご案内いたします。本研究は、ADCM技術のがん領域以外への応用の可能性に関し、岐阜薬科大学生体機能解析学大講座薬効解析学研究室の嶋澤雅光准教授および原 英彰教授らと共同し、眼科領域における基礎的な研究を進めてまいりました。

Current Neurovascular Research

<http://www.eurekaselect.com/172830/article>

Title: Anti-VEGFR2 Antibody-Modified Micelle for Triggered Drug Delivery and Effective Therapy of Choroidal Neovascularization

Author: Kei Takahashi<sup>1)</sup>, Tomomi Masuda<sup>1)</sup>, Mitsunori Harada<sup>2)</sup>, Tadashi Inoue<sup>2)</sup>, Shinsuke Nakamura<sup>1)</sup>, Kenichiro Naito<sup>2)</sup>, Hideaki Hara<sup>1)</sup> and Masamitsu Shimazawa<sup>1)</sup>

1) 岐阜薬科大学 生体機能解析学大講座 薬効解析学研究室

2) ナノキャリア株式会社

加齢黄斑変性の治療標的の一つと言われる血管新生阻害をターゲットとする抗 VEGFR2 抗体を結合した ADCM (DC101 Modified Micelle) について、加齢黄斑変性に対する効果を検討した。当該疾患の治療薬の評価に使われる CNV (choroidal neovascularization : 脈絡膜新生血管) モデルにおいて、DC101 Modified micelle を投与した群では、脈絡膜新生血管の縮小が認められた。本結果は、加齢黄斑変性をはじめとする眼科領域において ADCM によるドラッグデリバリーが有用である可能性を示唆した。

本リリースに記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、当該製品を宣伝・広告するものではなく、投資家への情報開示を目的とするものであって、その製品化を保証するものではありません。

以上